

【評価実施概要】

事業所番号	170501324		
法人名	医療法人愛全会		
事業所名	グループホームちようちようの家		
所在地	〒005 - 0812 札幌市南区川沿12条2丁目2 - 23 (電話) 011 - 578 - 5561		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060 - 0061 札幌市中央区南1条5丁目7愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成22年1月27日	評価確定日	平成22年2月3日

【情報提供票より】(平成22年 1月 7日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 13年 10月 10日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 7人, 非常勤 1人, 常勤換算 0.41人	

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨	造り
	2 階建ての	1 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	55,000 円	その他の経費(月額)	光熱・暖房24,000円他
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1月当たり43,000 円		

(4) 利用者の概要(1月 7日現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護 1	2名	要介護 2	0名
要介護 3	4名	要介護 4	2名
要介護 5	1名	要支援 2	0名
年齢	平均 86 歳	最低 79 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	愛全会病院、クリニックあい
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

愛全会病院を囲むように住宅街が形成されていて、当ホームは病院の玄関前に位置している。近隣には商店街もあり環境は利用者にとっても利便性が高く、散歩や買い物など近隣の人々との挨拶など交流ができ親しみのある地域である。職員は明るく、平常の服装で機敏に利用者本位の支援に努め、利用者・家族の信頼を得ている。ホームの構成は居間を中心に明るく・親しみがある生活調度品が寛ぎ場を作り、居室と台所・トイレ・浴室が機能的に配置されている。ホームは清潔で効果的な介護に努めるホームである。地域住民の支援もあり運営推進会議など利用者・家族の意向を反映した運営を行っている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後取組、改善状況(関連項目:外部4)
	運営推進会議開催の定時性や開催頻度等の改善に努め定例開催によって運営に生かしている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	常に、新たな利用者の支援・職員間の業務共有課題解決のため真摯に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	会議は参加構成委員から意見・意向が示されるよう配慮して運営されていて、家族代表・地域関係委員の声や地域包括支援センターの専門的な意見を聴取して業務運営に生かすよう努めている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	法人事務局による家族アンケートの収集など所管するホーム活動の實際を把握して運営に活かすと共に、ホームによる毎月のお知らせ、家族が来談時の対応など、きめ細かな一人ひとりのサービス支援対応で、意見・苦情・不安等を吸収し、運営に生かしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	法人ぐるみで所掌を分担しながら、地元町内会等関係団体・機関との情報交換・連絡や必要な相互の支援関係を大切に取組むことによって、連携を図り効果を挙げている。

2. 評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者個々の思いがかなえられ、家庭的で地域との交流の出来る環境の下での支援を理念としている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を掲出して常時認識できるように努め、カンファレンス会議には理念や法令に基づき、実践を確認・討議して支援に当たっている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の催事や福祉会館の催しに参加し、近隣の保育園児との交流・他のホームとの交流など、積極的な交わりの場づくりに努めた支援をしている。なお、活動理念を町内に回覧してホーム活動の姿を紹介するよう計画している。	○	改めてホーム便りを通して活動理念を町内会へ回覧しようとの計画は、ホーム活動を身近に理解していただく効果が高いと思われるので、成果を期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員が自己評価に参加し、日頃のケアの実践過程を振り返り、課題解決に活かしている。また評価結果もカンファレンス会議で確認しさらなる改善に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議は2ヶ月に1度、定例的に開催し、日常活動・行事・事故等を報告、参加委員の意見を運営に活かすよう努めている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>グループホーム活動を総括する事業室が主に札幌市との連携を図り、市との連絡会議・区管理者連絡会議への参加し、研修・親睦を図り、かつ情報交換を行って相互にサービスの質的向上に寄与するよう努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月の管理者からの手紙、2ヵ月毎の、個々利用者の生活の様子をホーム便りの載せるなど、連絡を密にして家族との情報交換に努めている。なお、お小遣いの領収関係の確認も合わせて行っている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族参加の行事や家族同士の交流の機会を設けて、職員と容易に相談できる場をつくりに努めている。法人としてもアンケートで意見を収集し、かつ、運営推進会議等での意向を運営に反映するよう努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員異動には家族との関係を重く受け止めて引継ぎなどに留意している。また、手紙やたよりで伝え、面会時に紹介するなど信頼関係を大切にしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	法人ぐるみの内部研修の重視、外部研修の促進を柱に勤務調整して、多くが参加できるよう努めている。また資格講習等の自主研修参加・奨励をしている。研修結果はカンファレンス会議で共有を図り、サービスの向上に資するよう努めている。		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	札幌市・区の連絡会での参加交流や区の地域包括センター主催研修会への参加で多くの情報交換があり、かつ法人関連事業所間で委員会活動など同業・他社との取り組みから、日常のサービスの質の向上に活かしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	申し込み段階から家族の苦勞・本人の不安を時間をかけて傾聴に努めている。入居後も家族との関係を維持して、ホーム生活への馴染みある環境づくりに配慮した処遇に努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	利用者個々の生活情報をもとに先輩として学びながら、趣味・嗜好・得意なことなどを活かしながら支援するとともに、出来ることは尊重して、より活性化できるよう努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>与えられた情報を記録に留め、生活歴等の分析や日頃の行動から学んで、その活動意向や趣味嗜好に応じた支援方法を引き出し・工夫を重ねて対応に努めている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員は毎月のカンファレンス会議を中心に個々のケアについて全員で対応できるよう取り組み、3ヶ月、半年を目処にモニタリングと評価を行って、本人・家族の要望に応じた対応を検討して介護計画に活かしている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>状態の変化には即時・即応した確認と対応に努め、家族との協議を重ねて介護計画の見直しと処遇の徹底を図っている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>法人組織内の医療・看護・栄養管理士等他職種との専門職種連携を図り、生活・健康保持に弾力的な対応をするとともに、時に応じて、病院受診・買い物・家族関連を含む車の手配などに努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	週1回の訪問看護、2週に1回の訪問診療などで健康の保持管理にあたり、他科受診など個別受診には家族と協力して対応している。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	重度化や終末期対応（看取り）は契約当初の指針に基づいて、利用者個々の状況に応じた方法で合意している。職員は方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	個々の尊厳に留意して誇りや個別性・主体性に合った声掛けや気持ち・動作に配慮して、その思いを受け止めるよう努めている。また、記録の活用・保存管理についても留意した扱いを共有している。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	利用者個々の生活のリズムやテンポに応じて、自由に安心して過ごせるよう対応するとともに、季節・天候・1日の流れなどに応じて希望に応えるよう支援を工夫している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の準備から後片付けまで可能な限り一緒に行い、彩りよい盛り付けや味付けなど、時に教えてもらいながら、皆が楽しんで食事づくりに参加出来るようにしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	意向を聞きながら午後のゆっくりした時間帯に、見守りや入浴介護に努め、楽しめるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事手伝いなど可能性と個々の得意を把握して参加を願っている。余暇のプログラムも好み・趣向で選択できるようにしている。また、地域の福祉会館の催事に参加するなど変化のある対応にも心がけている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節や天候に配慮して周辺散歩や花壇手入れ、週1回は可能な限り全員が外気浴や公園で楽しみ、時にごみ捨てに出るなど工夫した対応に努めている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	原則的の施錠をしない取り組みをしており、利用者の所在確認にはケアの一環として自然な留意に心がけている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回の避難訓練を行い、避難経路の確認、火災報知器の使用法、消火器の位置の確認など具体的な示唆確認をして実感している。</p>	○	<p>地域との連携ある試みを検討中なので、今後の取り組みを期待します。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量・水分補給には細心の留意をして、栄養不足者への対応、特定疾病者のカロリー等関連対応を行うとともに、職員の栄養等に関連する研修を実施してレベルアップをはかっている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>明るい陽射しを受け、彩り鮮やかな居間と壁面、温・湿管理のよさ、静かな雰囲気のある居室、台所、トイレ浴室などは介護生活機能の利便性に留意して構成している。和やかな感じを与える備品・調度も適度に配置され、余裕ある生活感と職員手作りの季節感を与える作品掲示で寛げる場を作っている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた備品・写真・飾りなどで落ち着いた雰囲気があり、家族との相談で個々の生活の趣向に応じた居心地の場を作っている。</p>		

 は、重点項目。